

ハイタカ（タカ科） 全長 オス31.5センチ メス39センチ

ハトぐらいの大きさしかない小形のタカで、主にヒヨドリまでの小鳥を主食にする猛禽類です。

普段はあまり見かけることはありませんが、冬になると我が家の庭に設置してある餌台に群がるスズメを狙って飛来してきます。

夢中になって餌を食べていたスズメが危険を察知したのか、一斉に繁みに隠れました。すると、窓ガラスから2メートルほどしか離れていない冬囲いの上にハイタカが現れたのです。これほど近距離で見たのは初めてです。



間近で見ると、息遣いまでが伝わってきます。

ハイタカの足指は細長く鋭い爪を持ち、スズメにとっては恐ろしい天敵です。逃げ遅れたスズメが犠牲になったのでしょう、雪の上に小さな羽が散らばっています。可愛いスズメのために作った餌台が標的になってしまったようです。しかし、ハイタカは餌台がなくても、自然の中で小鳥を狩りながら生きのびていることでしょう。

犠牲になったスズメには気の毒であるが、餌台は春までそのままにしておくことにしています。



冬囲いの上から隠れたスズメを狙っている。



見た目はオオタカに似ているが、背中の特徴的な模様が判別されます。

自宅から2kmほど離れた大浦沼。

ここに生えるハンノキから鋭い目で獲物を探すハイタカの姿は、猛禽類の迫力がありました。



伸びをすると、尾羽の縞模様が現れた。



ハンノキから周囲を見渡していた。